



岐阜県退職公務員連盟

可児支部広報

令和6年度 第3号 7月19日



社会保障制度改革に関する要望を 金子俊平議員に

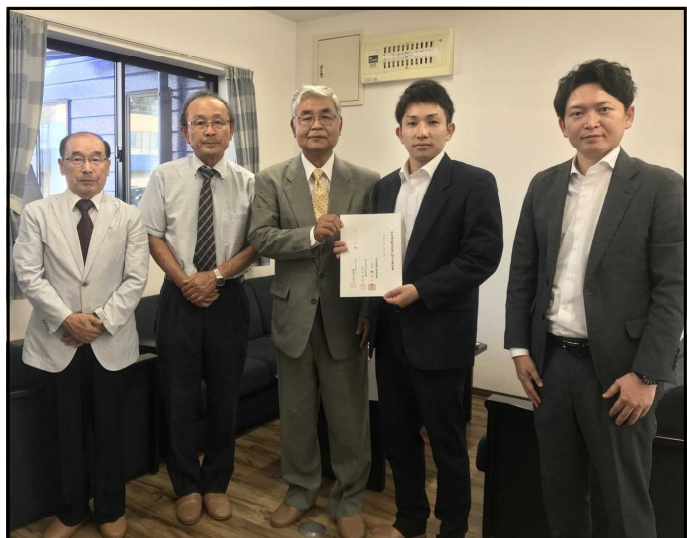
令和6年7月17日(水)午後4時より、長谷川支部長・亀井監事・松田庶務・山田会計の4名で、衆議院議員金子俊平可児事務所にお伺いしました。秘書の藤掛様と水野様へ、社会保障制度改革に関する要望の5項目について、趣旨とその背景をご説明し、強く働きかけていただきたいと要望いたしました。

可児支部会員全員の声をしっかりと届けることができました。今後も要望活動を重視していきます。ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

2名の秘書様が丁寧に 対応してくださいました



▲要望事項の趣旨とその背景を説明



▲金子俊平秘書に要望書を手渡す支部長

令和六年度 社会保障制度改革に関する要望事項

- 一 公務員の処遇・人材の確保に当たっては、人事院勧告を尊重するとともに働く環境を重くとらえて、多様で有為な人材が集う公務員制度の確立について十分配慮されたい
- 一 物価高騰などで年金生活者の生活が厳しい中、高齢者に優しい公的年金・後期高齢者医療保険・介護保険制度などの維持改善に努め、年金生活者の負担が過重にならないよう十分に配慮されたい
- 一 令和六年度の財政検証にあたり、現役世代の賃金と年金給付水準との比較(マクロ経済スライドの所得代替率の算定)に当たっては、現役世代と同様に社会保険料などを年金から控除するとともに単身世帯や共働きの世帯の増加など社会構造の変化にも配慮されたい
- 一 進行する超高齢社会・人口減少社会にあつては、健康で働く意欲のある高齢者及び女性、特に子育て世代が安心して働き易い労働環境の改善整備に特段の努力をされたい
- 一 我が国の人口が減少し続ける現実を注視して、少子化問題の対策を積極的に推進されたい

退公連活動の再確認と再構築を！

日公連副会長・社会保障対策委員長 室井 勝

令和6年度要望のポイントは3点です。

- (1) 現在、官民ともに「働き方改革」が大きな課題となっています。特に、小・中・高の教育公務員応募者が減少している。公務の場での「働き方改革」と処遇改善を求める要望です。多様で有為な人材が求められなければなりません。
(第1項)
- (2) 物価高騰により、年金生活者の生活が脅かされている現状を踏まえ、年金生活者の負担が過重にならないようにとの要望です。
(第2項)
- (3) 令和6年度は5年に一度の年金の財政検証の年に当たります。財政検証と実施中のマクロ経済スライドの抱える課題をしっかりと注視し、対応する必要があります。
その中で、現役世代の賃金と年金給付水準との比較方式の変更と、社会構造の変化にも配慮するよう求める要望です。
(第3項)

要望事項の内容が従来と比べてより明確になっています。我が国は、世界に先駆けて、超高齢社会、人口減少社会が進行しつつあります。

第4項は、公務員の65歳定年制は開始されましたが、健康で働く意欲のある高齢者及び女性、特に子育て世代が安心して働き易い労働環境を改善整備することを要望するものです。

第5項は、将来の社会保障制度の在り方に大きく影響する人口減少の現実を注視して、積極的に少子化問題に取り組むよう要望するものです。

要望活動は、私たちの生の声を国に届ける大切な行動です。各退公連の一層のご努力をお願い致します。そして、年金制度の改革に際しては、「現在および将来の年金給付が高齢者の生活を支える資金であり続けること」を願って活動したいと思います。

以上の要望事項は

- 「先輩方が築き上げて来た社会保障制度を、更に良い制度にして、次世代に引き継いでいくこと」
- 「現役世代を大切にしつつも、社会保障制度の改革に当たっては、年金生活者の負担が過重にならないこと」
- 「豊かな経験と知識を生かして社会参加し納得の人生の実現を目指すこと」
即ち、「退公連が人生100年を見据えた健康と生きがいを手にする学び合いの場になること」を目指します。「あきらめない気持ち」「活動への情熱」を胸に、会員が力を合わせて「退公連に入ってよかった」という退公連を作り上げたい。今、ここに、「退公連活動の再確認と再構築の活動」をお願い致します。

社会保障制度改革に関する要望書

令和六年七月十七日

日本退職公務員連盟

会長 鴨下一郎

岐阜県退職公務員連盟

会長 丹羽英之

金子俊平殿

長谷川秀次

岐阜県退職公務員連盟



社会保障制度改革に関する要望書

日本退職公務員連盟

退職公務員を始め年金生活者の処遇改善につきましては、平素格別のご高配を賜り深く感謝いたしております。

わが国は、超高齢社会・人口減少社会となりましたが、長生きしてよかつた実感でできる活力ある長寿社会の実現が急務となっています。

本連盟は、誰もが安心して暮らせる社会保障制度の構築、公務員が心置きなく職務に専念し、国家・社会の発展に貢献できる公務員制度の確立を希求しています。

特に、年金制度の改革に当たっては、現在及び将来の年金給付が高齢者の生活を支える資金であり続けることを願います。

つきましては、左記事項につき特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

令和六年度 要望事項

一 公務員の処遇・人材の確保に当たっては、人事院勧告を尊重するとともに働く環境を重くとらえて、多様で有為な人材が集う公務員制度の確立について十分配慮されたい。

一 物価高騰などで年金生活者の生活が厳しい中、高齢者に優しい公的年金・後期高齢者医療保険・介護保険制度などの維持改善に努め、年金生活者の負担が過重にならないよう十分に配慮されたい。

一 令和六年度の財政検証にあたり、現役世代の賃金と年金給付水準との比較（マクロ経済スライドの所得代替率の算定）に当たっては、現役世代と同様に社会保険料などを年金から控除するとともに単身世帯や共働きの世帯の増加など社会構造の変化にも配慮されたい。

一 進行する超高齢社会・人口減少社会にあつては、健康で働く意欲のある高齢者及び女性、特に子育て世代が安心して働き易い労働環境の改善整備に特段の努力をされたい。

一 我が国の人口が減少し続ける現実を注視して、少子化問題の対策を積極的に推進されたい。

